



特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」田植え始まる

トヨタヴェルブリッツの選手も参加



赤とんぼが舞う農村風景の復活を目指す豊田・みよし環境保全型農業推進協議会（豊田市・みよし市・JAあいち豊田）は5月20日、特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」づくりに賛同する消費者「赤とんぼ友の会」（会員15世帯）を招き、田植え体験を行います。今年は豊田市・みよし市などを拠点地域とするラグビーチーム「トヨタヴェルブリッツ」の選手も参加し、この地域の米と環境に配慮した農業をPRします。

赤とんぼ米栽培は手間がかかる分、米の価格に反映されるため、継続的に栽培していくには、消費者の方の理解や買い支えてもらうことが重要です。そのため、農業体験を開いています。

JAは、昨年12月からトヨタヴェルブリッツとパートナーシップ契約を締結していることから、今回選手らが参加することとなりました。



▲トヨタヴェルブリッツの選手や親子が田植えをする様子を撮影できます。

取材日

取材日時：令和5年5月20日（土） 9時30分集合

集合場所：JAあいち豊田下山営農センターの倉庫（豊田市大沼町越田和37-1）

取材場所：豊田市花沢町芦原32付近のほ場（JA職員がご案内いたします）

参加者：「赤とんぼ友の会」会員の15家族46人の親子

トヨタヴェルブリッツ選手 2人とその家族1人

（伊尾木 洋斗選手、崔 凌也選手）

※取材を希望される場合は、あらかじめ下記までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 営農相談課 担当：宇野

〒471-8511 豊田市西町4丁目5番地 電話（0565）31-2460

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp



★三河中山間ミネアサヒが特Aを獲得！

一般財団法人日本穀物検定協会が2月28日に発表した2022年産米の食味ランキングで、愛知・三河中山間「ミネアサヒ」が2年ぶり2度目の最高位、特Aに選ばれました。米の外観・香り・味・粘り・硬さ・総合評価の6項目で審査し、ミネアサヒはほかの米と比べてやや小粒ですが光沢と粘りがあり味も良い品種です。

★特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」

「赤とんぼ米」は農薬により激減したといわれる赤とんぼの復活を目指し、環境にやさしい農薬を使い、赤とんぼの生態に配慮して栽培されたお米です。農薬の量を愛知県の慣行基準5割以下、化学肥料に含まれるチッソ成分も5割以下とした特別栽培米で、人にも環境にも優しい安全・安心なお米です。

★令和5年 赤とんぼ米栽培概況

栽培農家：24戸

栽培面積：約17畝（前年比123%）

出荷予定量：1,218俵（前年比130%）

★赤とんぼ米 栽培農家

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
25戸	29戸	24戸	21戸	24戸

★赤とんぼ米 栽培面積

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
約12畝	約15畝	約14畝	約14畝	約17畝

★赤とんぼ米 出荷実績数量（1俵＝60kg）

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
622俵	752.5俵	785.5俵	759.5俵	1,218俵

※2023年は出荷予定数量です。